

## 佐藤紘光教授古稀記念号発刊の辞

社会科学学会会長 畑 恵 子

佐藤紘光先生はめでたく古稀を迎えられ、本年3月末日をもちまして、早稲田大学を定年退職なされました。先生は1972年に本学部の初代助手として着任されてから、41年の長きにわたり、社会科学部および社会科学研究科の教育・運営に尽くされてきました。先生のご退職は私どもにとって淋しい限りではございますが、先生が最後の日までお元気に教壇に立たれ、ご研究に専念されましたことを、心よりお慶び申し上げたく存じます。社会科学学会一同からの感謝の気持ちを込めて、ここに本号を佐藤紘光先生の古稀記念号として刊行させていただきます。

佐藤先生は学部では「簿記」「管理会計」、大学院では「会計情報論」などのご講義および研究指導を担当なさいました。先生は学生との時間をとても大切になさっておられたようで、おそらく大学院の演習が終わった後だと思いますが、院生たちと楽しそうに語りながら廊下を歩いておられるお姿をおみかけしたものです。先生のご来歴、ご業績は別掲のとおりです。日本管理会計学会常務理事、公認会計士試験第2次試験委員などを務められ、ご専門分野の第一線で活躍してこられました。また、商議員、評議員として早稲田大学の運営にも関わっておられました。

社会科学部の歴史を語る時、先生が43歳という若さで1988年9月に学部長に就任されたことを欠かすわけにはまいりません。それは学部だけでなく大学全体にとっても画期的な出来事であり、その後、学部は大きく変わっていったと聞いております。また、1992年12月から社会科学研究科開設準備委員会副委員長として、その後1994年4月から1996年9月までは同研究科教務委員として、大学院の立ち上げと基盤づくりにもお力を尽くされました。学部・大学院が今日あるのは、先生のお力によるところが大きいと言っても過言ではありません。本当にありがとうございます。

ございました。先生が中心となって築いてくださった学部・大学院を、私どもはしっかりと引き継いでいく覚悟です。しかし、昨今、学術院をとりまく環境が大きく変わるなか、学部も大学院も大変難しい局面を迎えています。今後とも、私どもをご指導くださいますよう、社会科学総合学術院のためにお力添えをくださいますよう、お願い申し上げます。

ご退職後にご研究をなさりながら、ご趣味も広げていかれるご予定であると同っております。敬愛する佐藤先生が、いつまでもお元気で過ごしになられますよう、お祈り申し上げます。